

プレスリリース

2013.11.07

西友、仕入れ価格高騰の影響を最小限に抑え2013年ボジョレー・ヌーヴォーの圧倒的低価格に挑戦

合同会社西友では、世界で西友でのみお求めいただけるオリジナルのボジョレー・ヌーヴォーを解禁日の11月21日（木）午前0時より、全国370店舗にて発売いたします。仕入れ価格が大幅に上がる中、西友は、今年も圧倒的低価格に挑戦。「ボジョレー・ヌーヴォー」フルボトルを870円で提供いたします。

フランスのボジョレーワイン委員会は、今年のボジョレー地区のブドウ収穫量は例年より少なく、歴史的に収穫量が少なかった2012年を少し上回る程度と発表しており、原料価格の高騰が懸念されています。これに加え、今年はさらに、円安や輸送コストの上昇など仕入れ価格が大幅に増えることで、国内で販売されるボジョレー・ヌーヴォーの価格も軒並み上昇することが予想されます。年々消費者のニーズが高まっている1,000円以下の低価格ボジョレー・ヌーヴォーにおいては、コスト増の影響が大きく、今年は特に価格を維持することが困難な状況と言えます。

西友では、お客様に今年も気軽にボジョレー・ヌーヴォーを楽しんでいただきたいと考え、独自の工夫を凝らし、主要アイテムとなる「ボジョレー・ヌーヴォー」フルボトルを中心に、価格をできる限り抑えて販売いたします。

商品の絞り込みと品揃えの最適化

昨年の販売動向に基づいて、商品を昨年の7アイテムから6アイテムに絞り込みました。ハーフボトルは3アイテムから1アイテムに減らし、また、3Lの紙製パックの取り扱いを中止することで、毎年最もお客様の支持が高いベーシックな「ボジョレー・ヌーヴォー」フルボトルを大量に調達。870円という圧倒的低価格を実現しました。また、味わいのバラエティに対するご要望にお応えして、白ワイン「マコン・ヴィラージュ・ヌーヴォー」と、樹齢60年以上のブドウを原料とした「セレクション・スペシャルボジョレー・ヴィラージュ・ヌーヴォー ヴィエイユ・ヴィーニュ」の2アイテムを新規投入。昨年よりも多くの味をお楽しみいただけます。

グローバルの人的資源と調達力の最大活用

西友オリジナルのボジョレー・ヌーヴォーは、親会社ウォルマートの英国子会社アズダに在籍し、世界で最も権威あるワインの資格「マスター・オブ・ワイン」を保持するフィリッパ・カールが監修しています。フィリッパ・カールが自らのネットワークを駆使し産地を選定、ブレンドにもこだわり、高品質なワインを作り上げます。取引先との強いネットワークと信頼関係により、十分な量を調達することも可能となります。